

予報2号「11 荒天対策について」の追記

第62回全国高等学校登山大会 登山隊長 葛原義和

予報2号「11 荒天対策について」の以下の部分について、不明な表記があるので、追加の説明を記します。

3 荒天対策は「行動可能な場合」と「行動不可能な場合」に分けて実施する。

① 行動可能な場合

ア 荒天によって通常の登山行動が困難な場合、基本的に次の短縮コースによって行動する。

1) 三池・釈迦コース : 猫谷→羽鳥峰→羽鳥峰林道

追記

進行方向から見て羽鳥峰峠の約195m手前に、南方向に602mの標高点まで延びる道があります。(車両は通行不可です。)これを羽鳥峰林道と呼んでいます。

荒天時の下山の際は、安全を第一に考えてこのルートを選択します。この地名の表記をどこにも記していなかったことをお詫びいたします。またこの羽鳥峰林道という呼び名は非公式のものです。

2) 中道・国見コース : ブナ清水往復

追記

朝、朝明駐車場でバス降車後、大会コースを逆走する形でブナ清水まで進みます。下山時は同じルートを進んで朝明茶屋キャンプ場にゴールします。

途中、渡渉するところがありますが、そこが渡れないほど増水する天候ならば、「② 行動不可能な場合」に当たります。

以上